



**KVK**

2026年3月期（第79期）  
**決算説明資料**

2026年6月24日

株式会社 **KVK** 6484



## 目次

- 1 会社概要
- 2 2026年3月期 決算概要
- 3 2026年3月期 振り返り
- 4 2027年3月期～2029年3月期中期経営計画
- 5 2027年3月期業績予想および株主還元
- 6 資本コストや株価を意識した  
経営の実現に向けた対応について
- 7 参考資料



# 01 会社概要

## 経営理念



## 会社情報

会社名 株式会社KVK

代表者名 代表取締役社長 末松 正幸

創業年月日 1939年2月5日

本社所在地 岐阜県加茂郡富加町高畑字稻荷641番地

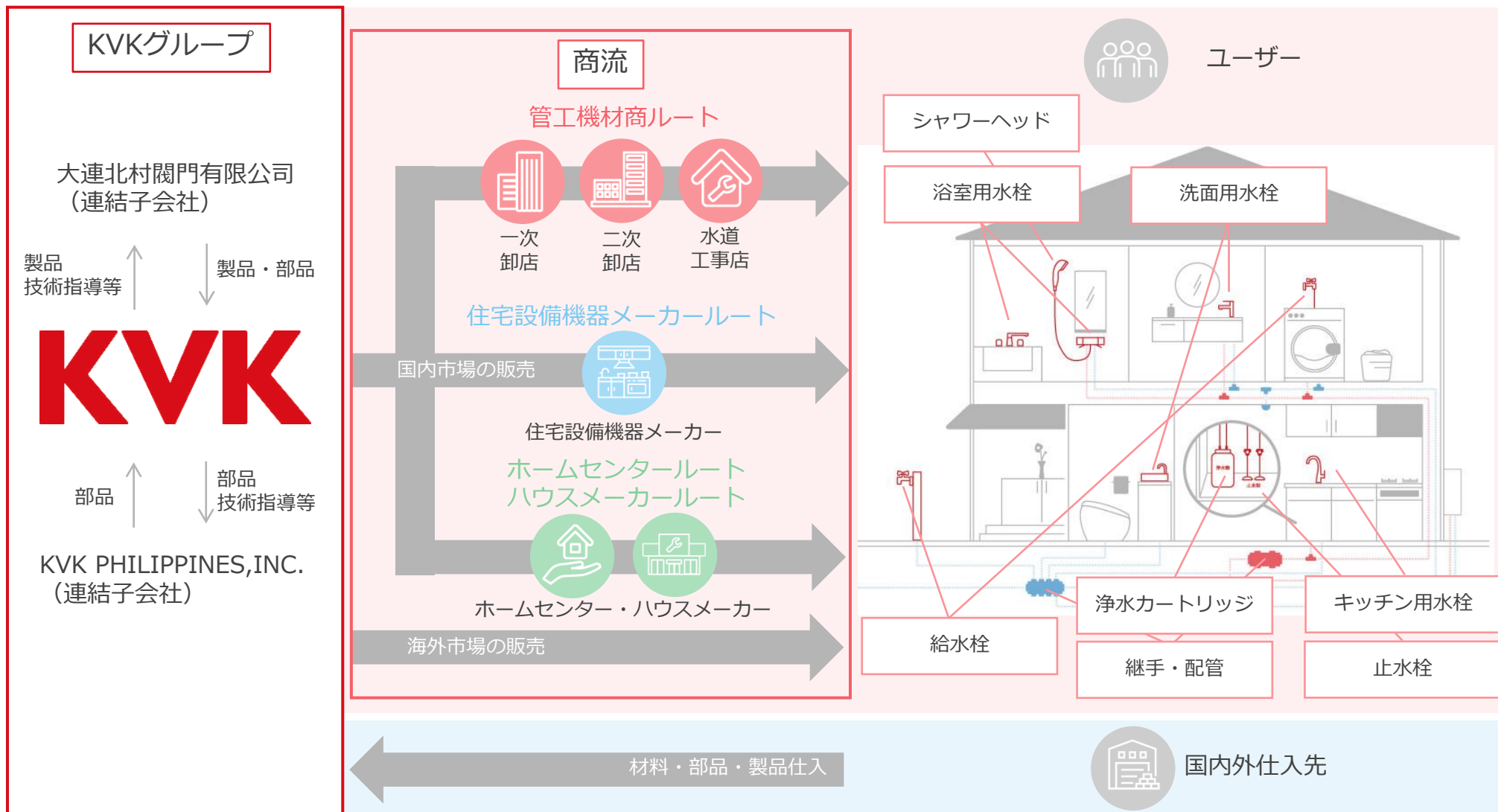
グループ会社 大連北村閘門有限公司（中国）  
KVK PHILIPPINES, INC.（フィリピン）

資本金 2,854百万円

従業員数 1,175人 2026年3月31日現在

事業内容 水栓金具、継手、排水金具、水栓部品  
製造・販売

「防災設備」を含めた「床上」から「床下」まで、家一軒まるごと水まわりをプロデュースする水栓金具専門メーカーです。



1939年  
北村鋳造所創業

1949年  
北村バルブ株式会社設立

1966年  
初期の壁付混合栓発売

1989年  
大連北村閥門有限公司(生産工場)設立  
飛驒工場(給水栓組立)設置

1992年  
「株式会社KVK」に商号変更

1993年  
日本証券業協会に店頭登録

1994年  
大連保税区北村国際工貿有限公司(販売会社)設立

2008年  
株式会社喜多村合金製作所および  
その関連会社の株式会社タツタマ、  
有限会社ロイヤル興産から給排水金具・  
継手事業の一部を譲受け

2014年  
海外事業室を設置

2016年  
KVK PHILIPPINES, INC.(生産工場)設立

2018年  
登記上の商号及び本店所在地の変更  
コーポレートロゴの変更

2021年  
TVCM「ハーツスイ！」篇を公開

2023年  
新棟2棟完成  
コージェネレーションシステム稼働  
太陽光発電稼働

## 売上高



1939年～  
創業期・拡張期

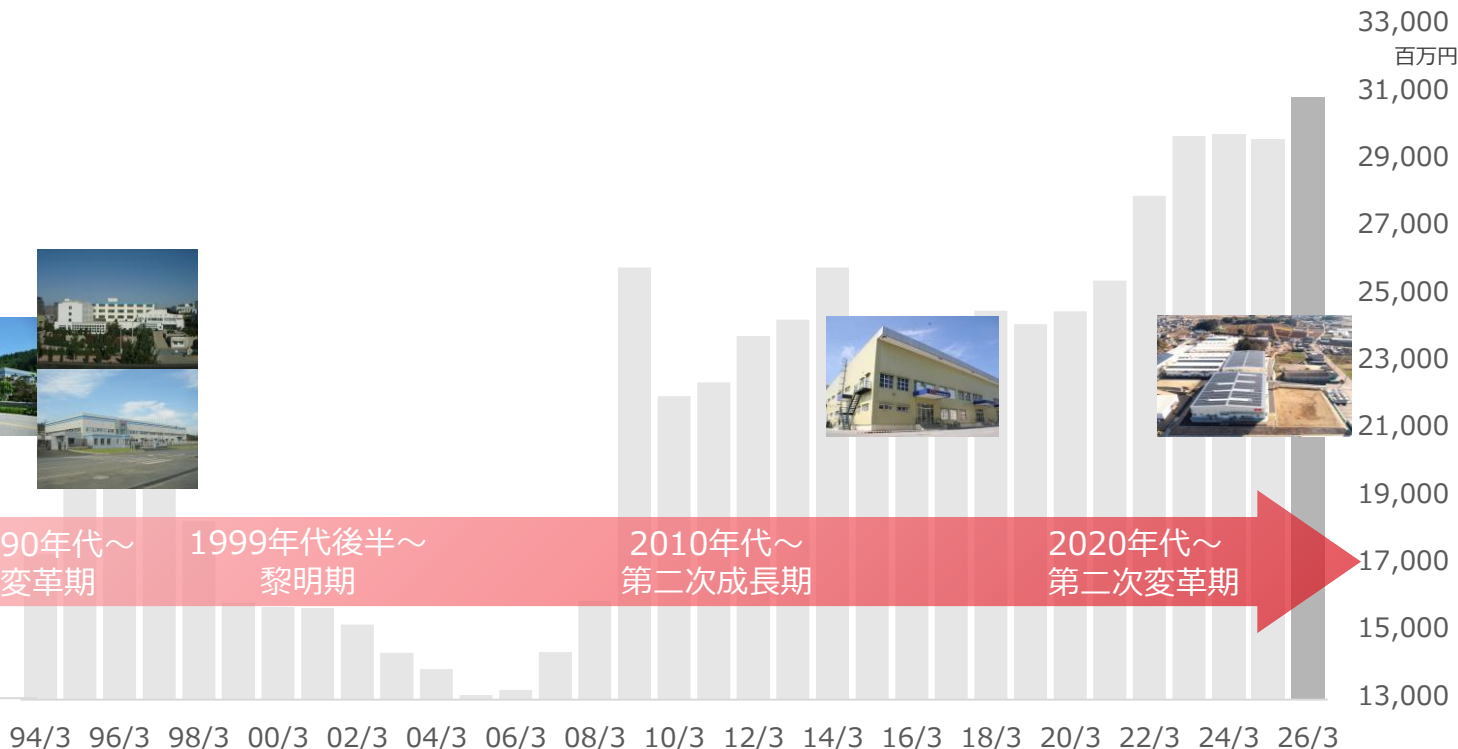
1960年代～  
成長期

1990年代～  
変革期

1999年代後半～  
黎明期

2010年代～  
第二次成長期

2020年代～  
第二次変革期



KVKは、1939年にバルブコックの製造メーカーとして創業以来、日々の生活に欠かすことができない水まわりを担う水栓金具メーカーとして、高品質で信頼されるモノづくりを追求しております。

国内市場シェア21.0%<sup>※</sup>

前年比+1.2ポイント  
(2026年3月期数量ベース)

## 1 提案力

お客様の要望を理解し適切に対応いたします

## 2 技術力

長年の培った経験から付加価値を生む技術力があります

## 3 生産品質力

国内外4つの生産拠点で一貫生産体制を構築しており安定した品質の維持をしております

お客様の要望に合わせて商品やデザインなどの提案をいたします

各工程全数検査しています

HPからも商品の問い合わせを承っております  
→メーカー直のアフターサービス

主活動

企画/開発

調達/仕入

生産

販売

物流

アフターサービス

製品

支援活動

品質保証・生産技術

総務・企画・経理・情報システム・監査

商品点数  
約11,000点



# 02 2026年3月期決算概要

- 売上高は、各商流において当社の主力商品であるシングルレバー式水栓およびサーモスタット式水栓の受注増加により増収。
- 営業利益は、売上高の増加に伴い増益。
- 新工場棟建設に伴う土地および建物の取得に関する補助金の交付もあり、経常利益、当期純利益も増益。

過去最高

売上高

30,899百万円

前年同期比+4.2%

営業利益

2,711百万円

前年同期比+1.9%

経常利益

3,074百万円

前年同期比+0.1%

当期純利益

2,189百万円

前年同期比+3.7%

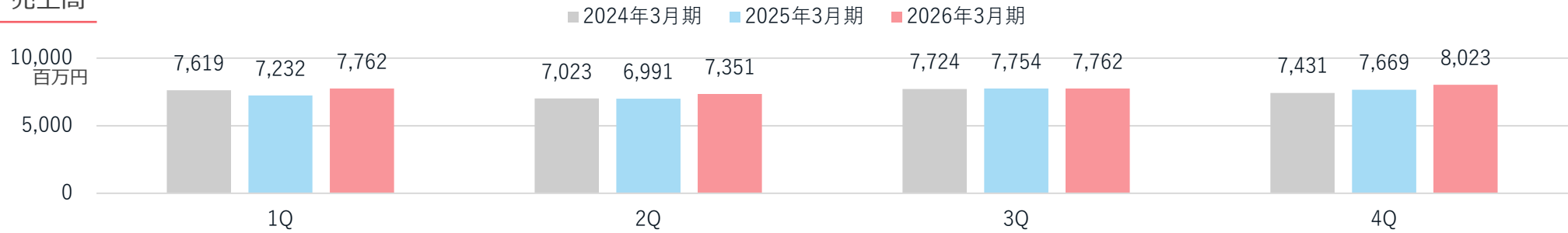
	2025年3月期	2026年3月期		前年同期比	業績予想比
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	業績予想		
売上高	29,648	30,899	30,500	+1,250 (+4.2%)	+399 (+1.3%)
営業利益	2,660 (9.0%)	2,711 (8.8%)	2,700	+50 (+1.9%)	+11 (+0.4%)
経常利益	3,072 (10.4%)	3,074 (10.0%)	2,800	+1 (+0.1%)	+274 (+9.8%)
当期純利益	2,110 (7.1%)	2,189 (7.1%)	1,900	+78 (+3.7%)	+289 (+15.2%)

# 四半期別業績ハイライト

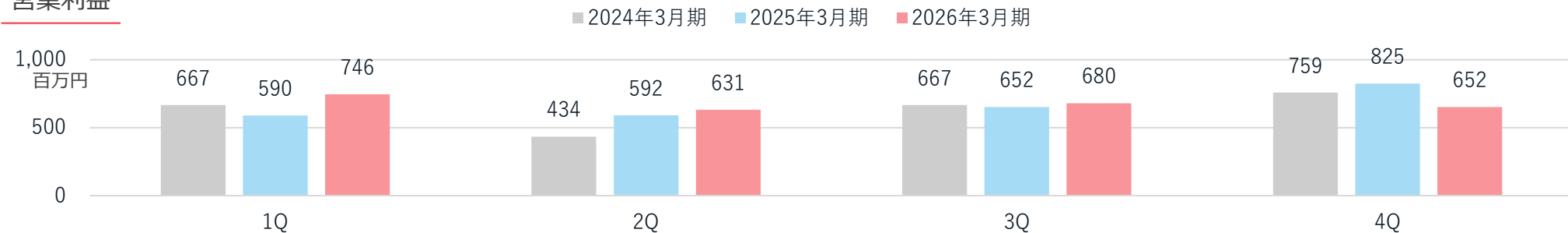
- 3Qは売上高7百万円増（前年比0.1%増）、営業利益28百万円増（前年比4.4%増）で前年同期比増収増益。
- 4Qは売上高353百万円増（前年比4.6%増）、営業利益173百万円減（前年比21.0%減）で、前年同期比、主力商品の受注増加で売上を伸ばしたものの、原材料価格の高騰、仕入先コストの増加により、営業利益は減少。

百万円	2024年3月期実績				2025年3月期実績				2026年3月期実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,619	7,023	7,724	7,431	7,232	6,991	7,754	7,669	7,762	7,351	7,762	8,023
営業利益	667	434	667	759	590	592	652	825	746	631	680	652
経常利益	674	451	763	977	602	802	707	960	796	937	669	671
四半期純利益	405	303	490	781	408	535	500	665	537	652	487	511

## 売上高

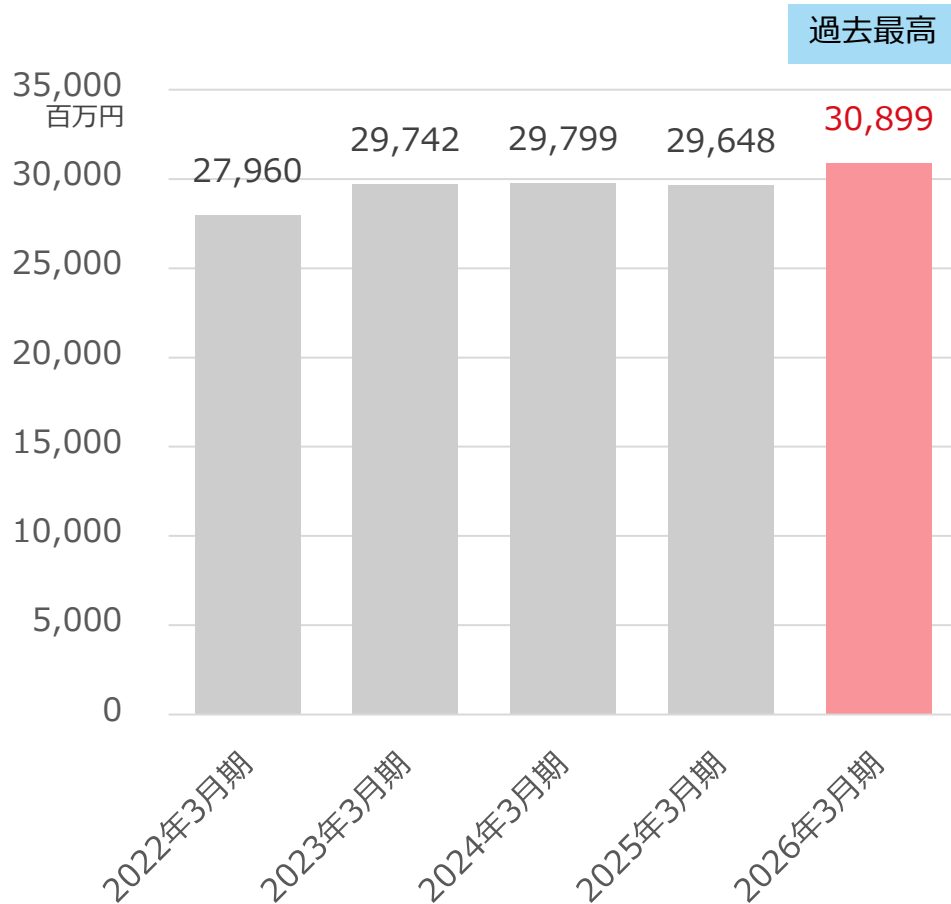


## 営業利益

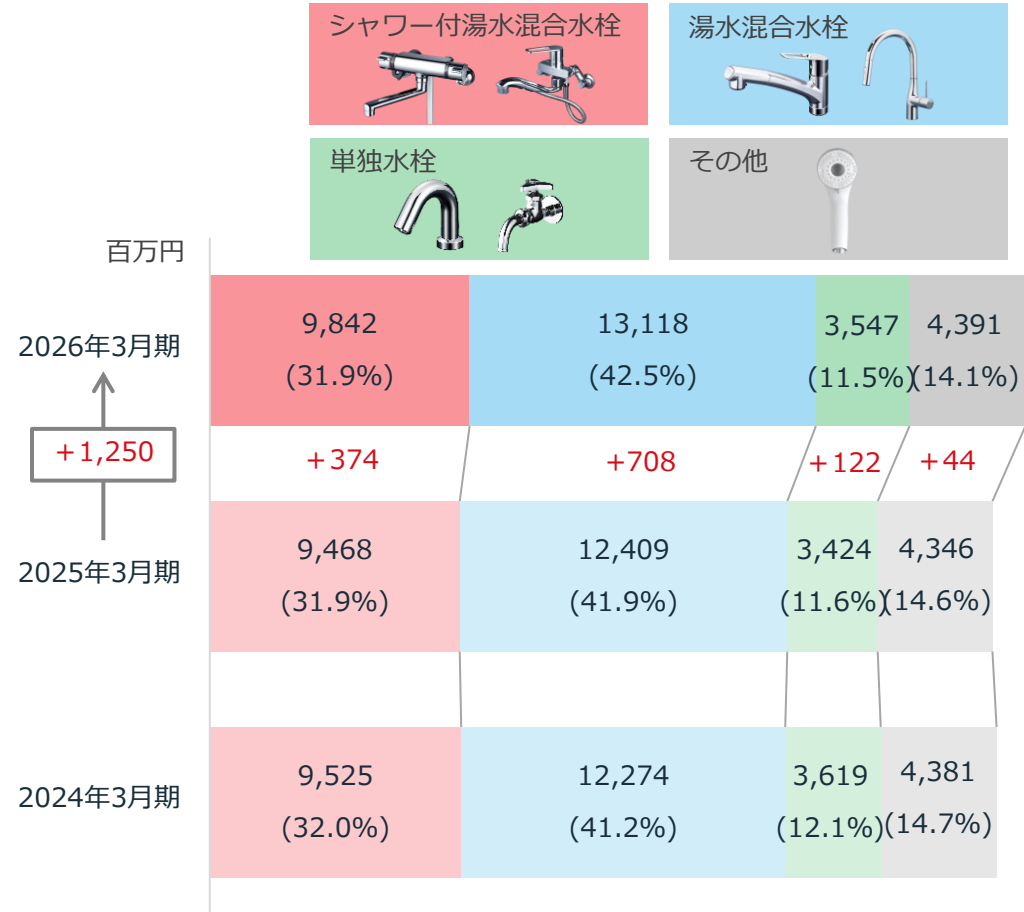


- 売上高は、過去最高。
- シャワー付湯水混合水栓、湯水混合水栓を中心に伸長。

## 売上高推移

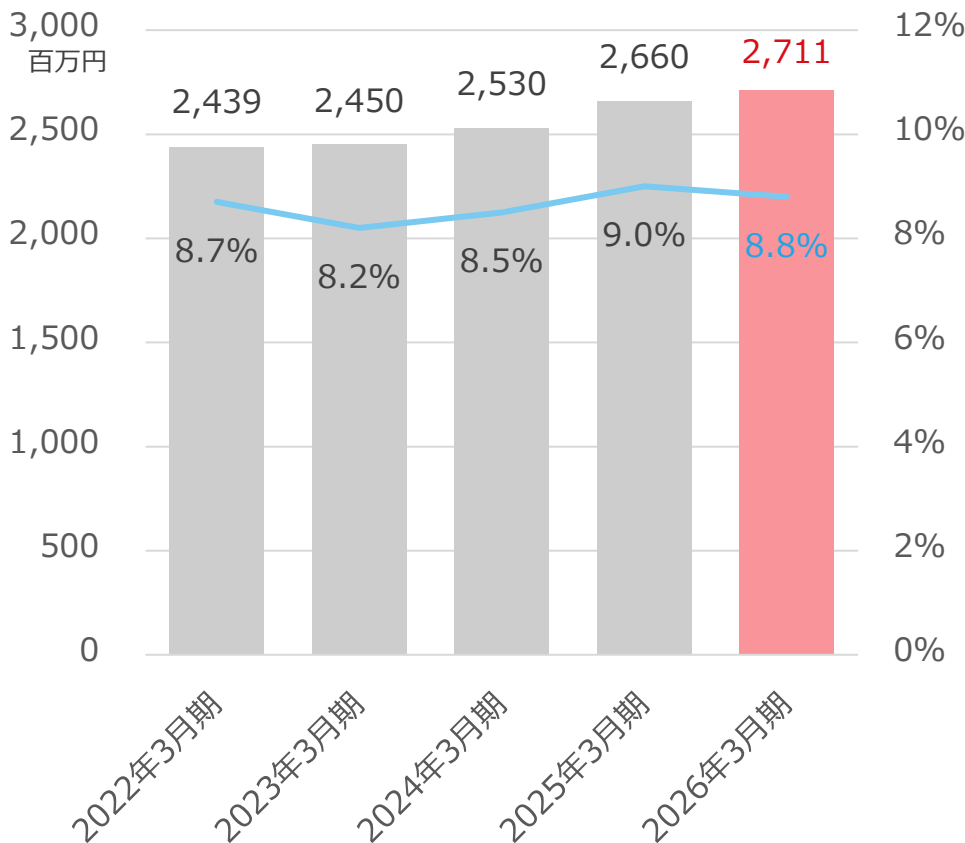


## 品目別売上高推移

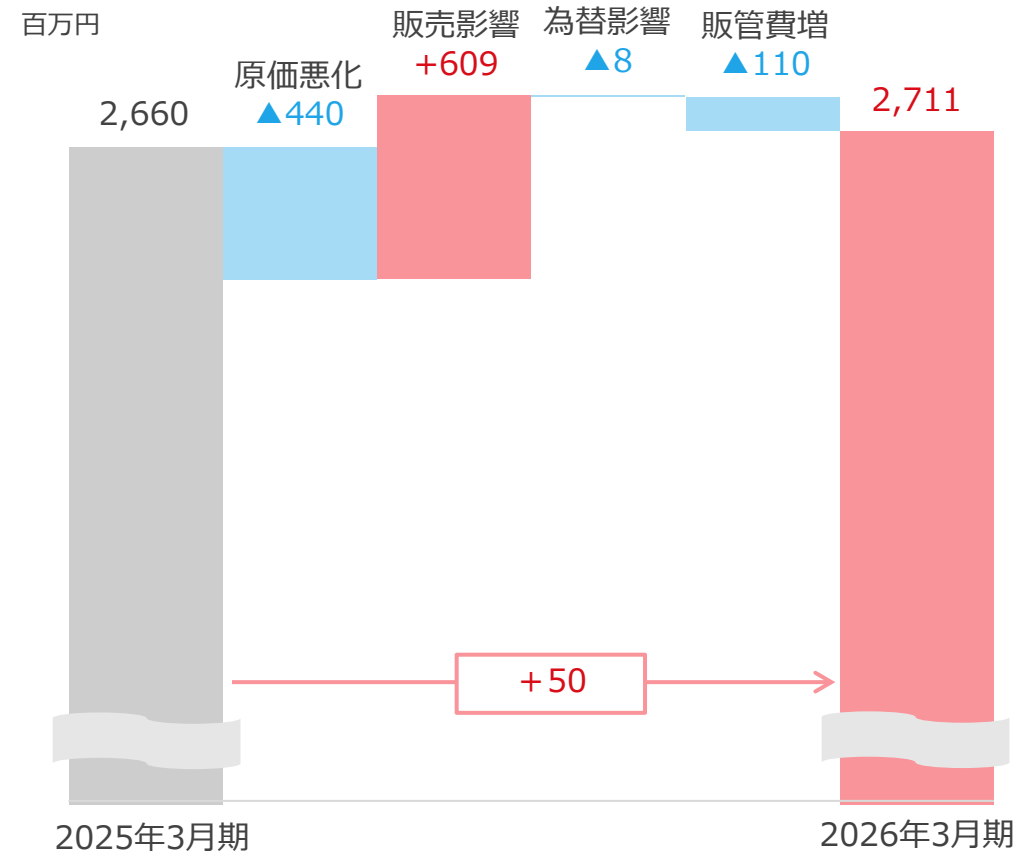


- 原材料価格の高騰および仕入先コストの増加の影響で原価悪化した分を販売影響にて補填。

## 営業利益・営業利益率推移



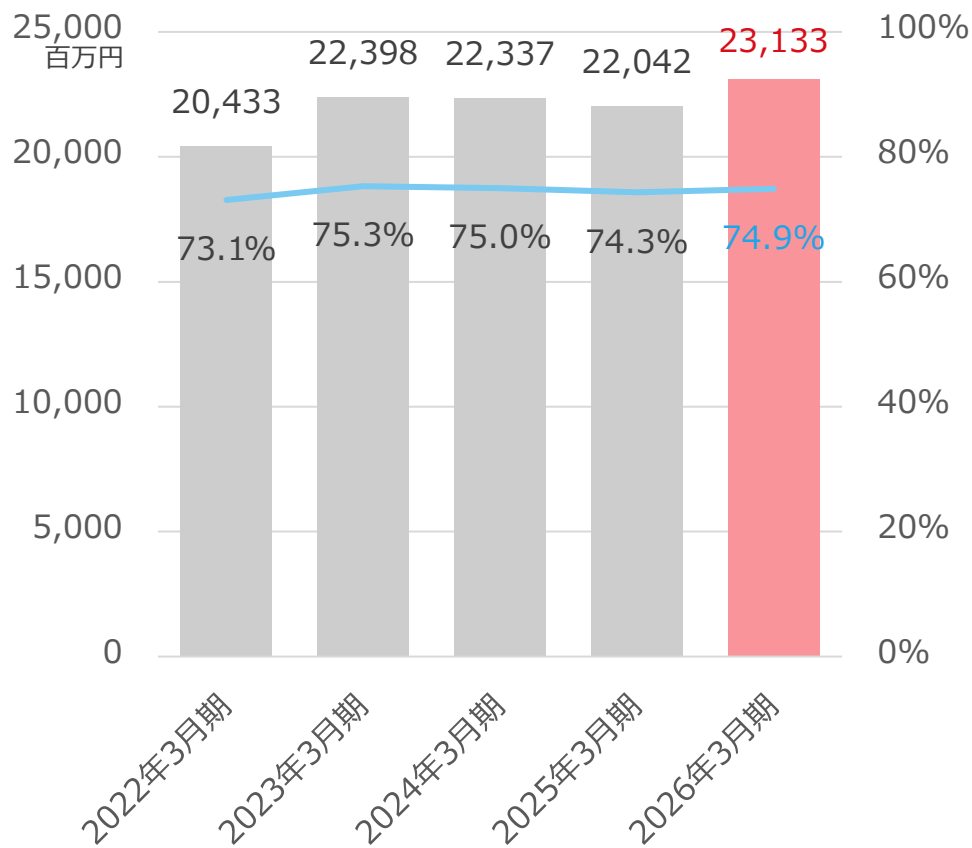
## 営業利益増減要因分析



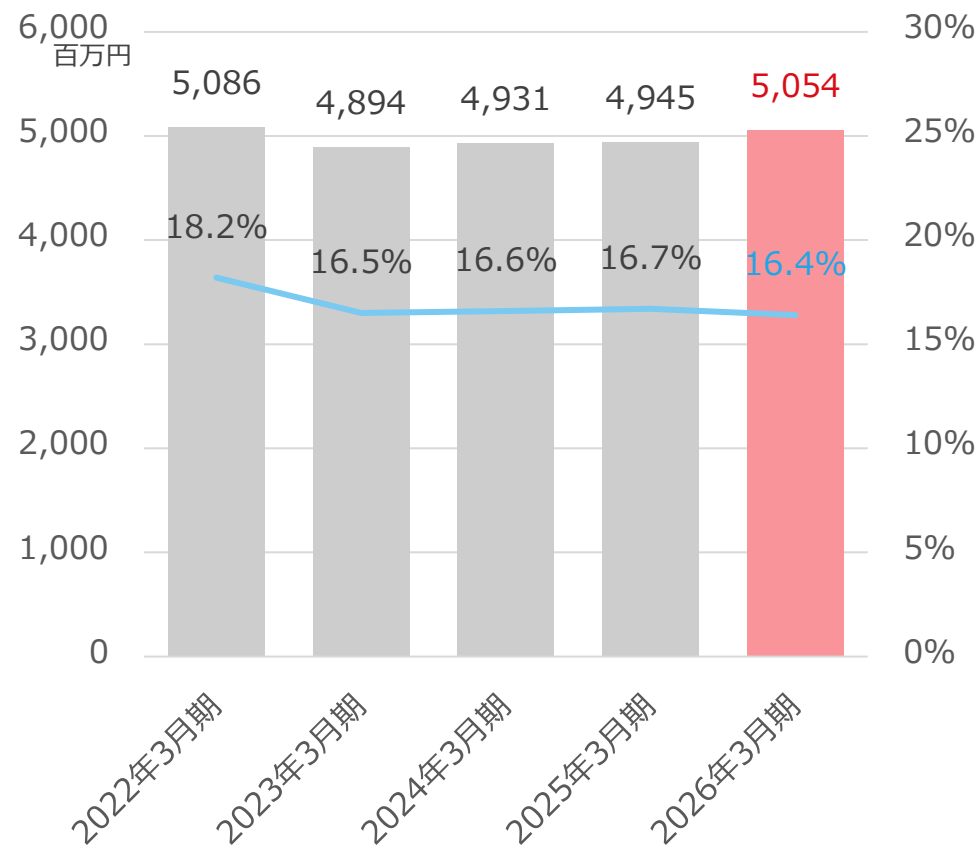
※想定為替レート 2025年3月期：20.4円/元 2026年3月期：21.0円/元

- 売上原価は売上高比74.9%で前年比+0.6ポイント。
- 販管費は賃上げの影響もあり、微増。

## 売上原価・売上原価率推移



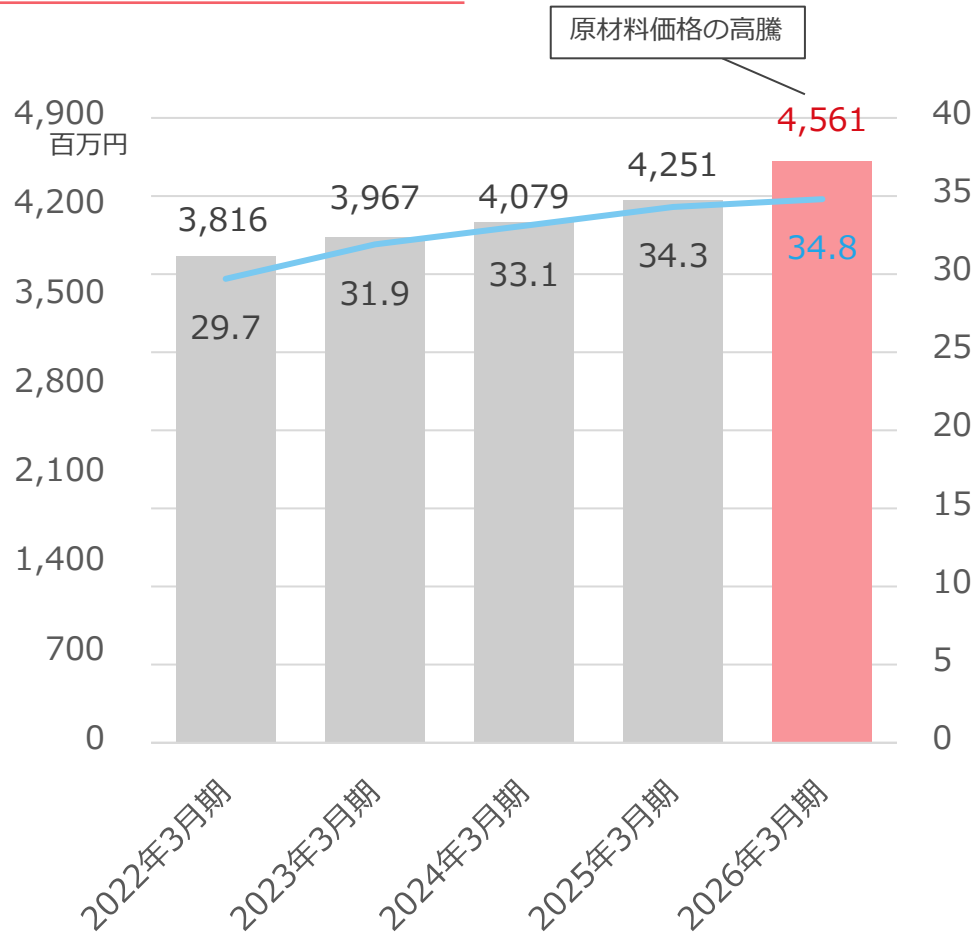
## 販管費・販管比率推移



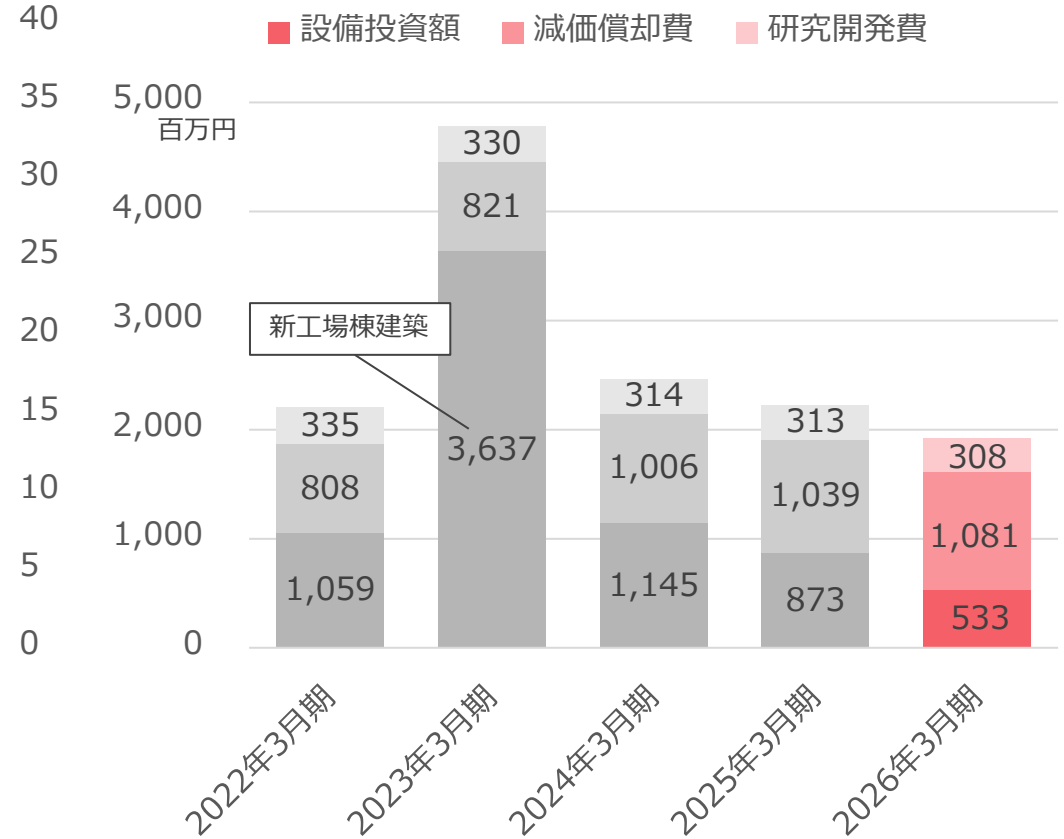
※銅価格：期首1,540円/kg、期末2,040円/kg 為替：期首19.7円/元、期末23.1円/元

- 在庫金額は原材料価格の高騰もあり、前年比+311百万円。
- 設備投資額は前年比▲340百万円、減価償却費は前年比+42百万円、研究開発費は前年比▲5百万円。

## 在庫金額・在庫回転日数推移



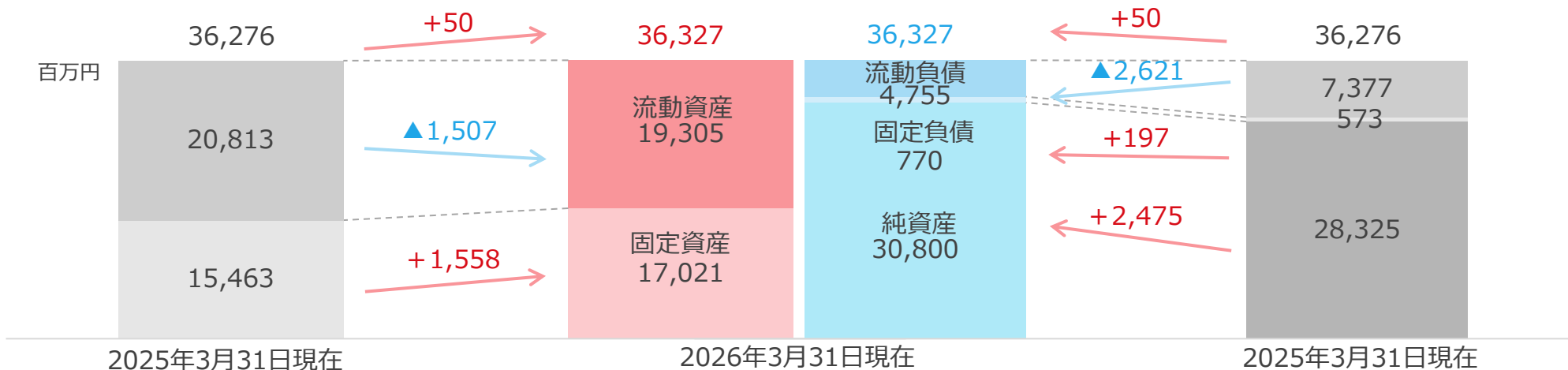
## 設備投資・減価償却費・研究開発費推移



- 流動比率は、前期末に比べ、123.9ポイント増加し、406.0%。
- 自己資本比率は、前期末に比べ、6.7ポイント増加し、84.8%。
- 1株当たり純資産額は、前期末に比べ、299円39銭増加し、3,836円83銭。

## 資産の部

## 負債の部



流動資産	現金及び預金の減少	▲2,107
	棚卸資産の増加	+310
	原材料及び貯蔵品の増加	+254

固定資産	投資有価証券の増加	+1,297
------	-----------	--------

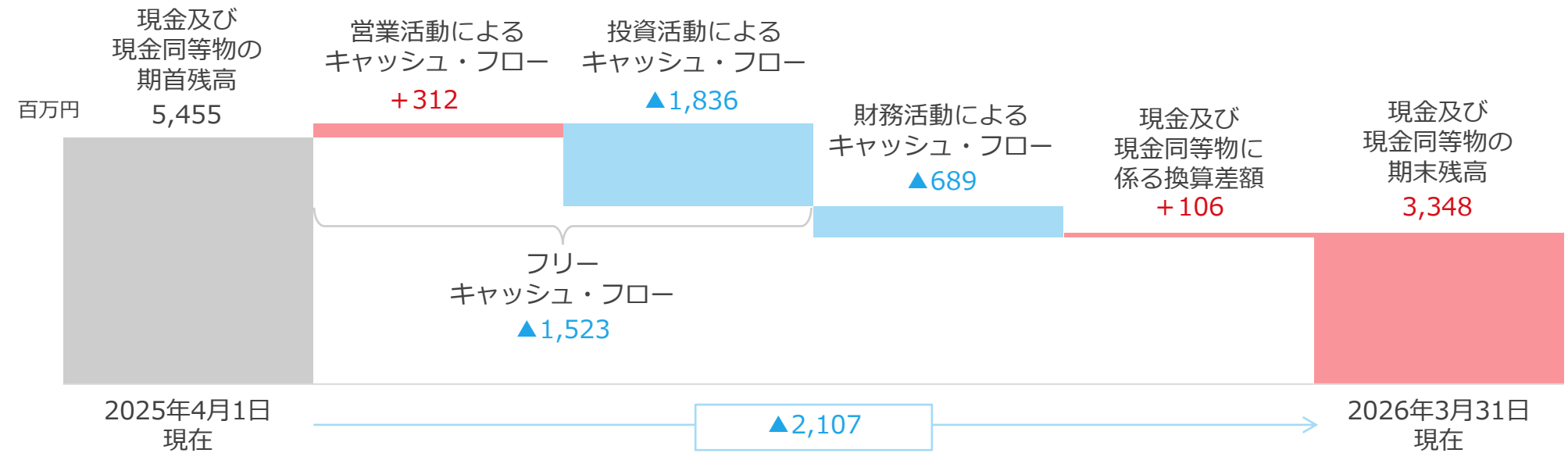
流動負債	仕入債務の減少	▲1,962
	未払消費税等の減少	▲311

固定負債	—	—
------	---	---

純資産	利益剰余金の増加	+1,527
-----	----------	--------

- 取適法対応のための支払サイト短縮化による仕入債務の減少もあり、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ2,107百万円減少。

営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	+3,083	有形固定資産の取得	△877	配当金の支払額	
減価償却費	+1,081	無形固定資産の取得	△485	△661	
仕入債務の減少	△1,803	投資有価証券の取得	△602		
法人税等の支払額	△968				





03 2026年3月期振り返り

※2026年3月期は前中期経営計画最終年度

## 前中期経営計画（2023-2025）「KVK Innovation」業績目標および実績

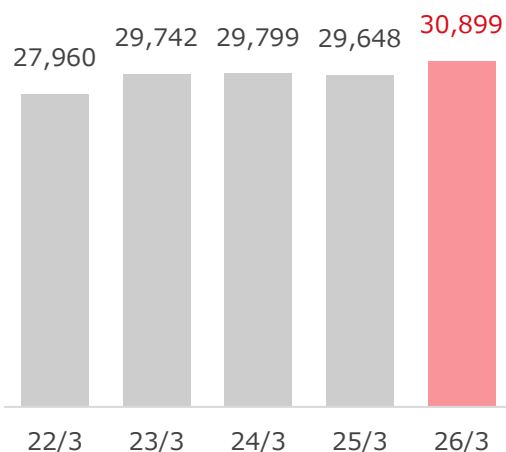
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	実績	実績	目標
売上高	297億円	296億円	308億円	※305億円
営業利益率	8.5%	9.0%	8.8%	10.0%
ROE	7.7%	7.6%	7.4%	10.0%

### 売上高は達成、営業利益率・ROEは目標未達

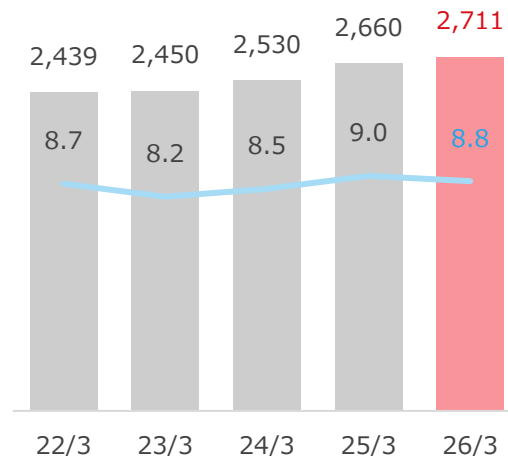
- 各商流において当社の主力商品であるシングルレバー式水栓およびサーモスタット式水栓の受注増加により売上高は目標達成。一方で、原材料価格の高騰、仕入先コストの増加により原価が上昇し営業利益率・ROEは目標未達。

## 業績目標項目の実績値の推移

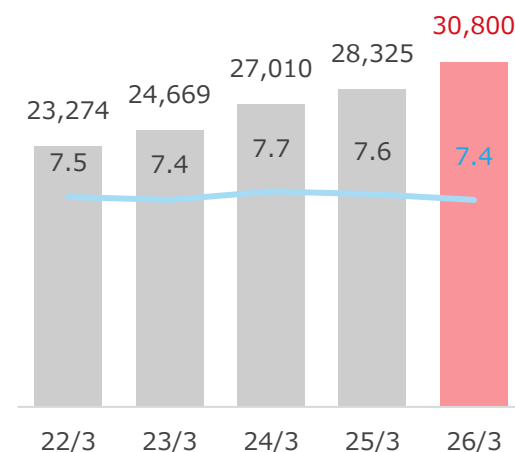
### ● 売上高(百万円)



### ● 営業利益(百万円)と営業利益率(%)



### ● 自己資本(百万円)とROE(%)



※前中期経営計画（2023-2025）策定時は2026年3月期の売上高目標を360億円にしてましたが、中国の想定以上の市況低迷により 海外売上が中計策定時の見通しから大幅に減少したことから、売上高の目標値を下方修正しています。

戦略		振り返り
販売基盤 の強化	既存商流の売上基盤の維持・強化	<p>管工機材ルート、住宅設備機器メーカーへの高付加価値商品の提案</p> <p>全国KVK会地区大会開催（関西地区、東北地区、関東地区）による販売ルートとの連携強化</p> <p>2025年3月期売上高29,648百万円→2026年3月期30,899百万円（前期比4.2%増）</p>
	市場ニーズに合った中高級品の販路拡充	<p>中高級サーモスタット式シャワー水栓、撥水膜コーティングを施した水栓、カラーバリエーション、など高付加価値商品のラインアップを増やし、新築ならびにリフォームの取替需要に対応</p>
	海外市場の新規拡大および既存顧客深耕	<p>2025年5月上海にて開催された「第29回中国国際キッチン&amp;バス設備展覧会」に出展</p> <p>アジア市場での代理店の開拓</p>
生産基盤 の強化	高効率な生産体制によるコスト競争力強化および安定供給体制の構築	<p>本社、飛騨古川、中国大連、フィリピンによる最適地調達・最適地生産の推進</p> <p>自動化の推進</p> <p>NPS研究会による巡回研究会の開催、社内選抜メンバーによる自主研究会の実施</p>
	DX推進による生産性向上	<p>自動化ライン稼働率向上に向けたデータ取りおよび解析</p> <p>間接部門の社内基幹システム刷新による業務効率化と標準化の推進</p>

戦略	振り返り
<p>環境配慮型商品および使いやすさを追求した製品の開発</p>	<p>リサイクルを前提とした製品設計・開発</p> <p>標準仕様で節湯対応</p> <p>海外規格、海外環境規制に適合した商品の販売</p>
<p>多様な人材が活躍するためのキャリア形成支援の強化およびワークライフ・バランスの向上</p>	<p>中途採用人数：17名</p> <p>管理職研修・階層別研修の実施</p> <p>エンゲージメント調査実施</p> <p>育児休暇取得率</p> <p>男性：40%、女性：100%</p> <p>サステナビリティ委員会定期開催（キャリア形成支援やワークライフ・バランスの向上に向けて議論）</p>
<p>生産活動における温室効果ガス排出の削減および環境負荷物質・廃棄物の削減とリサイクルの推進</p>	<p>コージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの稼働によりエネルギー使用量と二酸化炭素排出量を削減</p> <p>CO2排出量：CO2原単位（kg-CO2/千円）で前年比2.98%削減</p>
<p>地域社会への参画と貢献</p>	<p>公益財団法人KVK福社会の運営</p> <p>→地域の生活保護世帯の生徒・学生に対する奨学金、学用品の支給</p> <p>地域清掃活動の実施</p> <p>地域交通安全活動の実施</p> <p>地域行事への協賛</p> <p>ふるさと納税の運用</p>
<p>透明性・健全性の高い経営体制づくりとそのチェック機能の充実</p>	<p>リスク管理委員会を年2回開催し、重要なリスクに関しては取締役会および経営会議に報告し必要な協議・決議を行う</p>

## 国際ホテルレストランショーへ出展

ホテル業界への当社商品の認知度向上を目的に、本年2月17日から20日まで東京ビッグサイトにて開催されました「第54回国際ホテル・レストランショー」に出展しました。

洗面用シングル混合栓のカラーバリエーションや、浴室用オーバーヘッドシャワー水栓のマットブラック仕様、洗面用シングルシャワー付混合栓の撥水水栓などを展示し、ホテルのインテリアに調和し、空間を洗練された落ち着いた雰囲気演出できる事をアピールしました。



## 全国KVK会地区大会開催

販売代理店・特約店で構成する全国KVK会の地区大会を、関西地区、東北地区、関東地区にて開催しました。お取引先の皆様と親交を温め、結束を固める良い機会となり、管工機材販売ルートでの連携強化を図ることができました。



## KPS活動

7月に、NPS研究会による巡回研究会を開催しました。一業種一社で構成される会員企業の改善メンバーがチームとなり、当社組立ラインをモデルラインとして、改善活動を実施しました。11月から12月にかけては、飛騨古川工場において社内選抜メンバーによる社内自主研究会を開催しました。対象ラインから多くの課題を抽出し、改善したことにより生産性向上につながりました。引き続き、自主的な研究会を定期的開催し、改善活動を活発に行い生産性の向上につなげていきます。

## 中高級サーモスタット水栓発売

使用感やメンテナンス性を損なうことなく、シンプルでありつつも個性があり、浴室空間のアクセントになるようなデザインに特化した中高級価格帯のサーモスタット式シャワー水栓、KIERRE（キエラ）とREUNA（レウナ）を発売しました。KIERREは面をひねったことで複数の表情をもつアシンメトリーなデザインで、エッジが効いたラインからなる水が流れ落ちるような形状になっております。REUNAは光沢のある材質の黒を上下めっきで挟み、コントラストを強調し、直線の美しさを表現したデザインです。



## 洗面用水栓のカラーバリエーション拡充



洗面用シングル混合栓にサテンゴールド、アイアングレー、チタニウムシルバー、ブロンズゴールドが新色として加わり、より好みの空間へ演出することができるようになりました。

## 撥水水栓のバリエーション拡充

取付穴径や取付ピッチにかかわらず、一定のサイズ幅を調整して施工できるマルチリフォーム水栓シリーズに撥水膜コーティングを標準仕様として施し発売しました。水アカなどの汚れが付きにくく、拭き取りが簡単にでき、リフォーム時の取り替えに最適です。



## ※ 決算説明「ログミーFinance書き起こし」公開

持続的な成長と企業価値の向上を目的として、株主および投資家との対話の促進に向けた、IR・SR活動の一貫として、ログミー株式会社様が提供する「ログミーFinance書き起こし」を公開開始しました。「ログミーFinance書き起こし」により、投資家の皆様との接点がこれまで以上に増えることで、情報格差の是正やより深い事業理解へ繋がるものと考えております。同時に、「ログミーFinance」側からも提携サービスを通じて多くの投資家に配信いただけますので、これまで以上に投資家の裾野を広げていくことが可能だと考えています。引き続き、情報発信に努め、当社のことをご理解いただける機会の創出を目指した取組みを進めてまいります。



個人投資家、海外・国内機関投資家、アナリスト等、投資意欲の高い幅広い層へ配信

決算説明資料公開

全文記事作成

ログミーFinanceで  
公開

提携メディアで  
配信

※

ログミー株式会社（Sansan株式会社グループ）様  logmi Finance

ログミーFinanceは、「すべての人にIRを開放する」をミッションに掲げ、企業と投資家を繋ぐIRテックイノベーターとして事業を展開しています。

決算説明会などIRイベントの内容を全文書き起こして公開し、IRとメディアの発信力を組み合わせることで、IR活動の量と質を高めるサポートをしてきました。IR活動における新たなアプローチ手法として利用企業が急増しており、掲載実績は1,500社を超えるファイナンスメディアになっております。



04

2027年3月期～2029年3月期  
中期経営計画

**2027年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定しました。**  
詳細は別途同日開示資料「2027年3月期～2029年3月期中期経営計画」を参照ください。

2027年3月期～2029年3月期  
中期経営計画



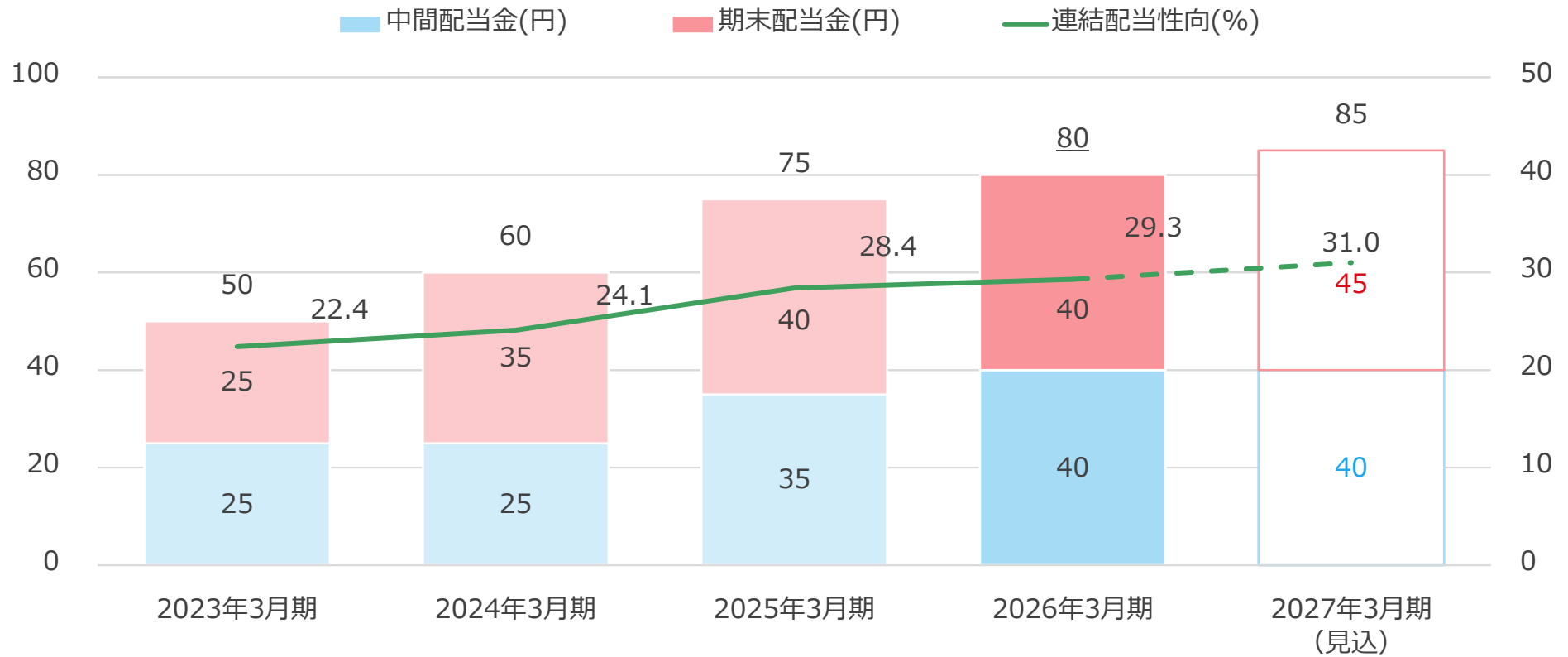


05 2027年3月期業績予想  
および株主還元

- 高付加価値商品の販売を伸ばして増収、営業増益を見込む。また、地政学的リスクによる金融市場の不確実性および価格変動リスクを回避するため、4月に投資有価証券の一部を売却した売却益を盛り込み、経常利益、当期純利益も増益を見込む。

百万円	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		業績予想比			
	中間期	通期	中間期	通期	中間期		通期	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	15,114	30,899	15,300	31,500	+185	+1.2%	+600	+1.9%
営業利益	1,378	2,711	1,300	2,800	▲78	▲5.7%	+88	+3.3%
経常利益	1,733	3,074	1,550	3,200	▲183	▲10.6%	+125	+4.1%
当期純利益	1,190	2,189	1,100	2,200	▲90	▲7.6%	+10	+0.5%

- 期末配当は、1株当たり40円とし、中間配当40円と合わせて年間で80円とする。
- 次期の配当に関しましては、中間配当40円、期末配当45円の年間85円に増配予定。
- 17期にわたり、一度も減配することなく配当。



※2024年3月期はKVK創業85周年記念配当5円を含みます。

## 株主優待

所有株式数 **100株以上**

- 当社製品を優待価格でご提供

所有株式数 **500株以上**

- 当社製品を優待価格でご提供
- +
- 3,000円相当の入浴用品



## 2026年度優待価格対象製品

<p>ファインバブル</p>  <p>ファインバブル</p> 	<p>激水 e シャワー</p>  <p>激水 e シャワー</p> 		<p>激水 e レバー センサ-</p> 	<p>激水 e レバー センサ-</p> 
<p>ウルトラファインバブル シャワーヘッド</p>	<p>サーモスタット式シャワー</p>		<p>シングルシャワー付 混合栓</p>	<p>シングルシャワー付 混合栓</p>
<p>G Shower      hadamo 黒</p>	<p>KIERRE                      REUNA</p>			
<p>PZS390              PZS370MB</p>	<p>FTB300KWFHST              FTB310KWFHST</p>		<p>KM6071(Z)DECHS</p>	<p>KM5021(Z)TDECHS</p>

## IR活動

三井住友信託銀行様提供アプリ  
「株主パスポート」の導入

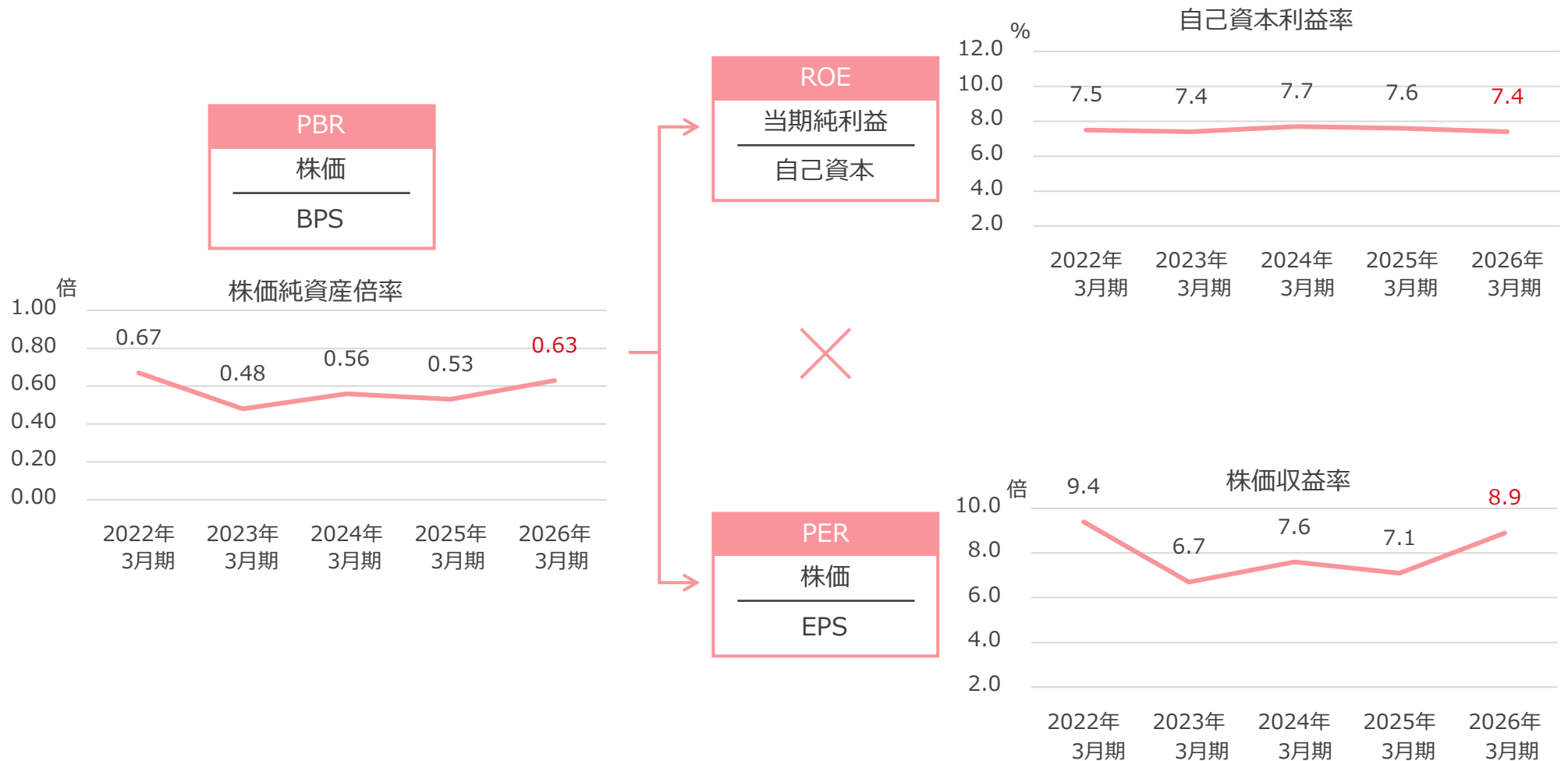
### サービス内容

- 株主総会、配当金、株主優待などの最新情報の確認
- 議決権の行使

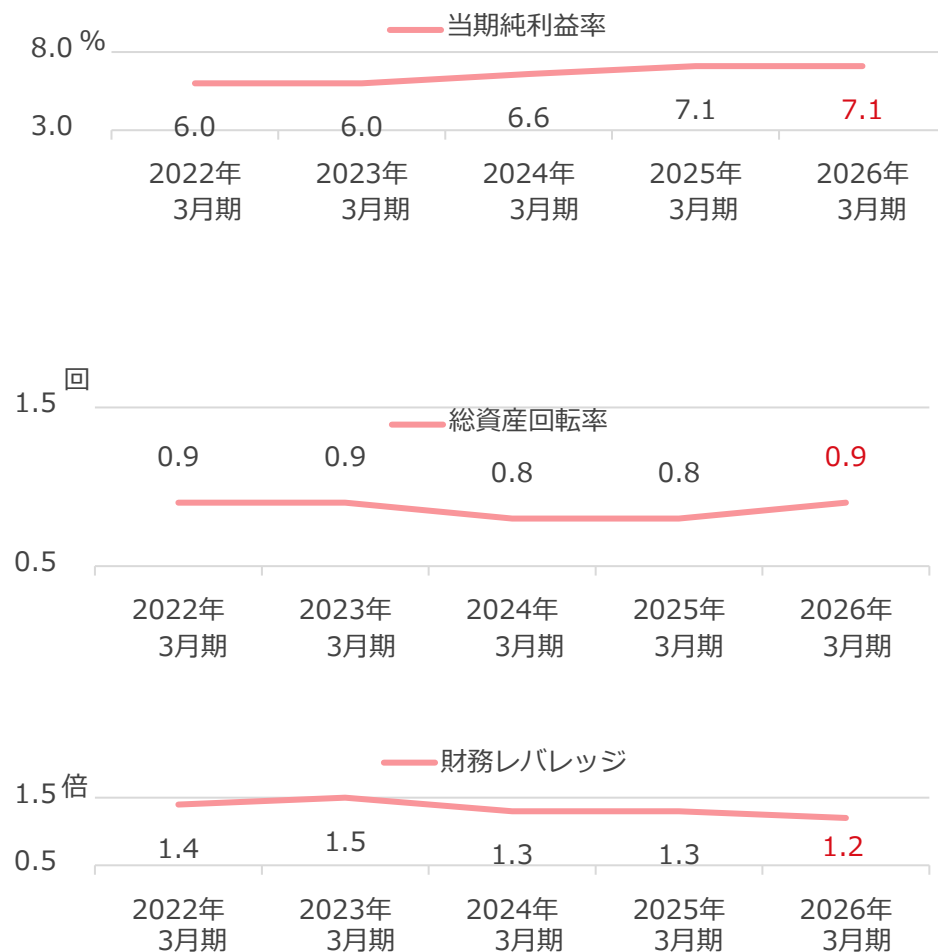
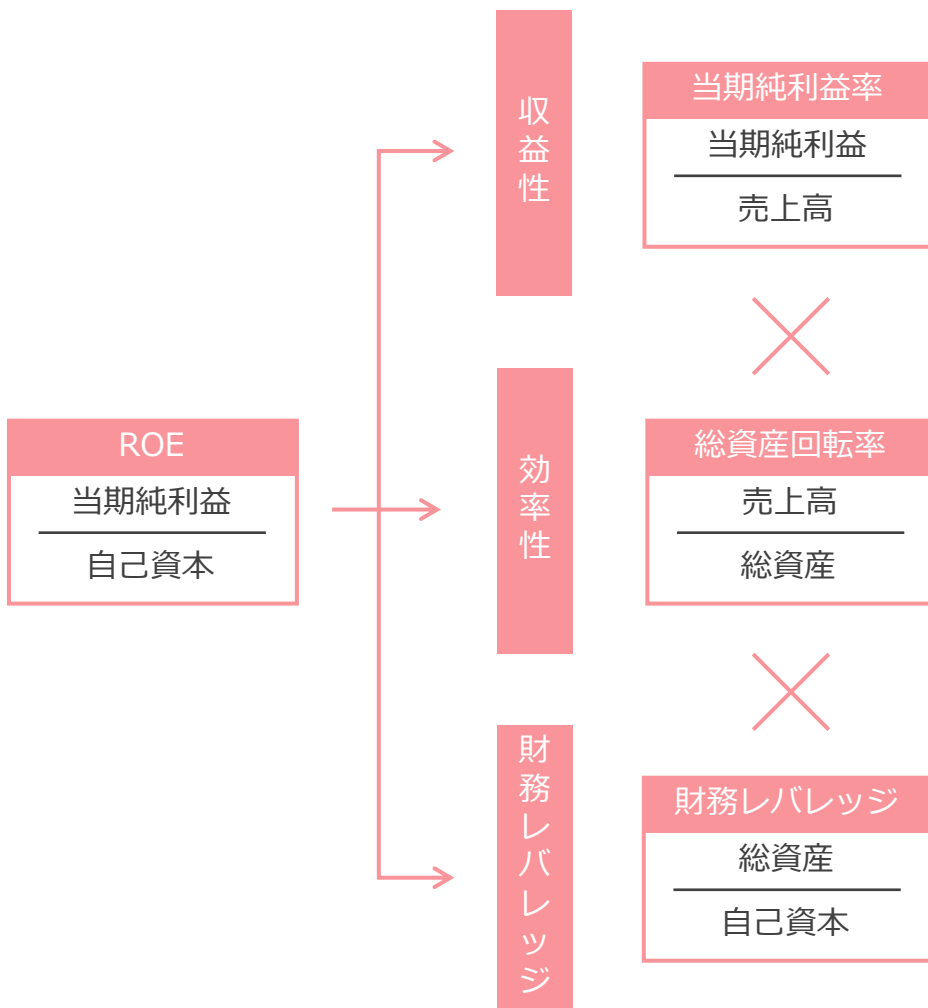
A grayscale photograph of a worker in a white lab coat and gloves using a power tool on a metal part in a factory setting. The worker is focused on the task, and the background shows industrial machinery.

# 06 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

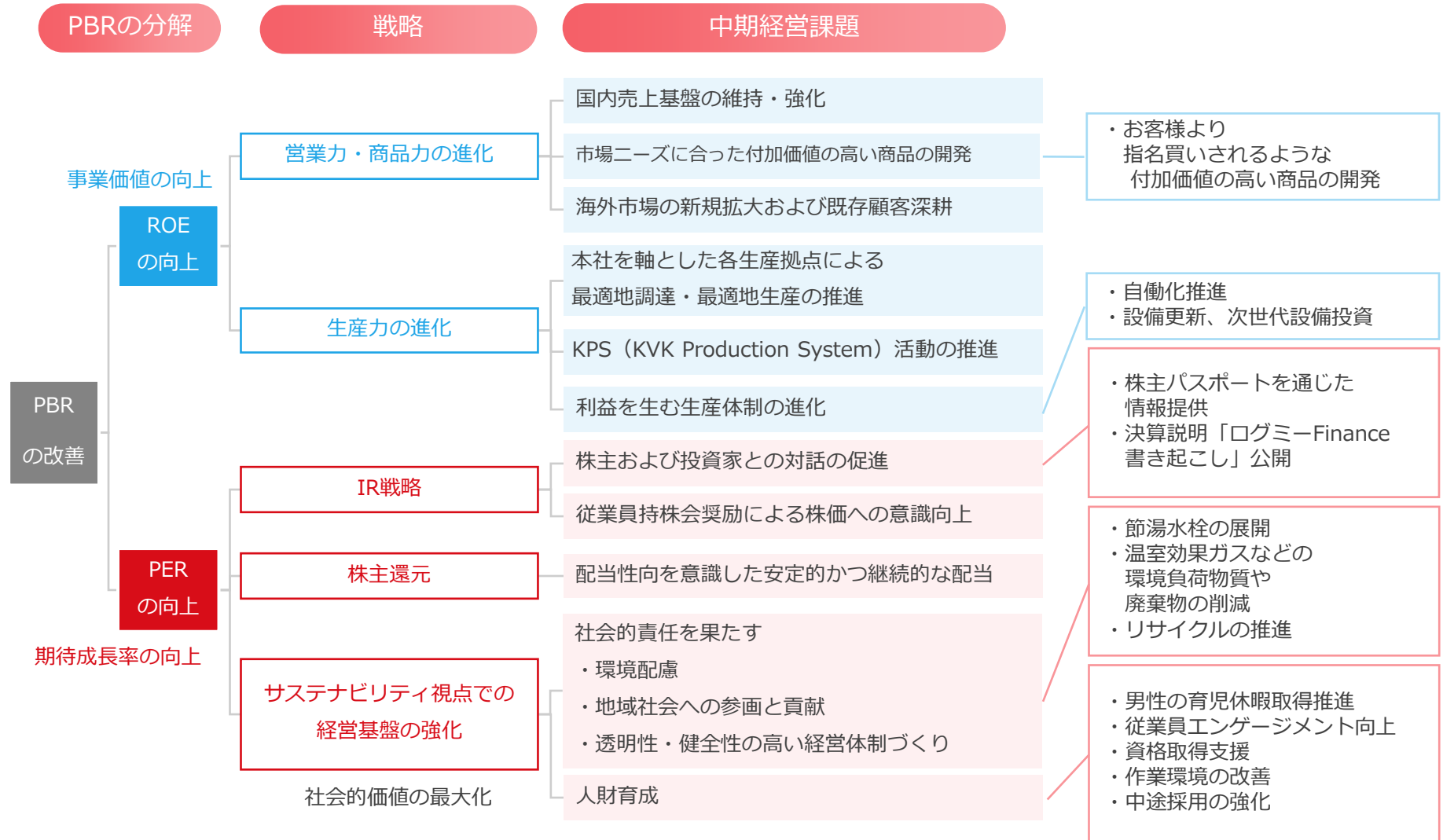
- 前年度と比較しPBRは0.1ポイント上昇。株価は2025年3月末1,880円から2026年3月末2,428円に上昇。
- ROEは、当期純利益が前年同期比増加したが、自己資本が増加したこともあり0.2ポイント減少。
- PBRは一倍を下回る状況が継続しており、ROE、PERを改善しPBRの向上に努めて参ります。

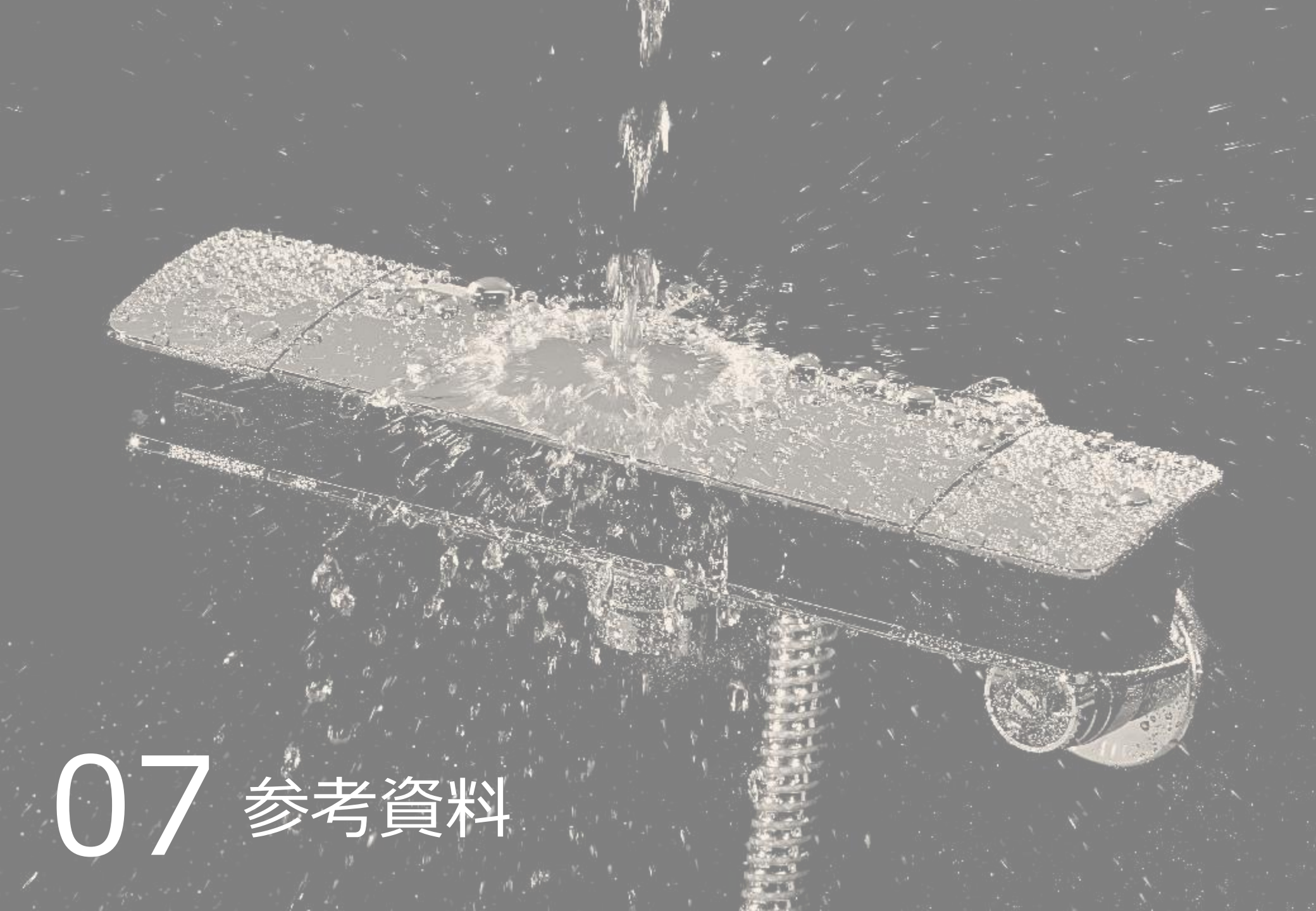


- 収益性、効率性、財務レバレッジ共に横ばい状態。
- 引き続き収益性の改善および在庫適正化に取り組む。
- 配当性向を意識した株主還元に取り組む。



- 事業価値と社会的価値を同時に実現すべく、中期経営計画に従って施策を実行することにより、ROE、PERを改善しPBRの向上に努めて参ります。

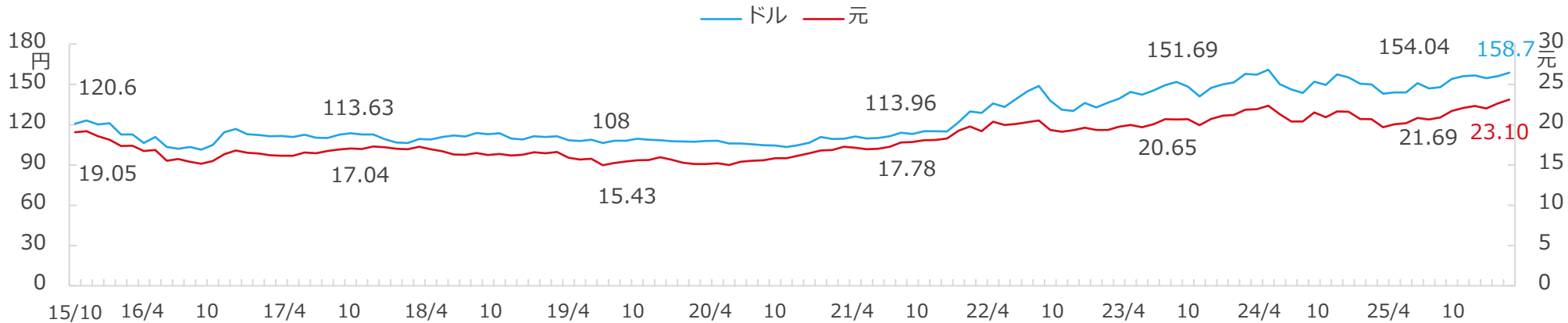




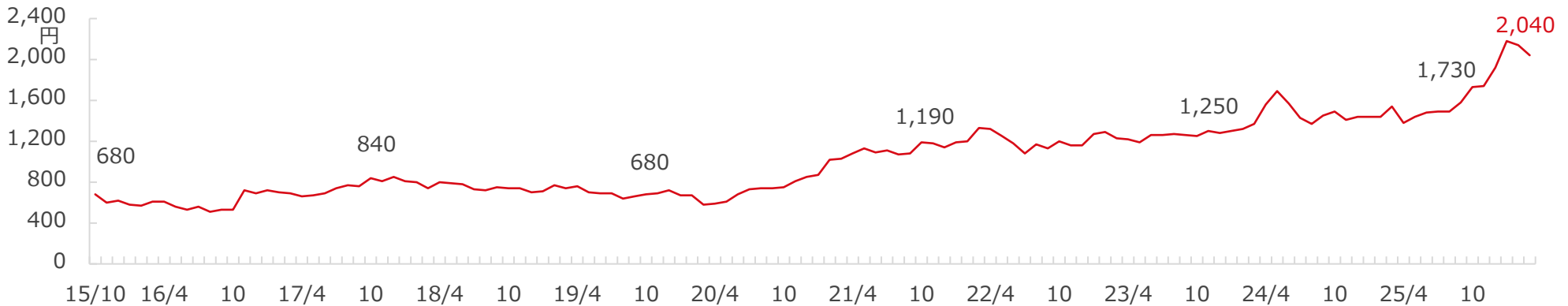
# 07 參考資料

- 為替は円安傾向維持。
- 銅の国内相対取引の建値は高騰傾向維持。

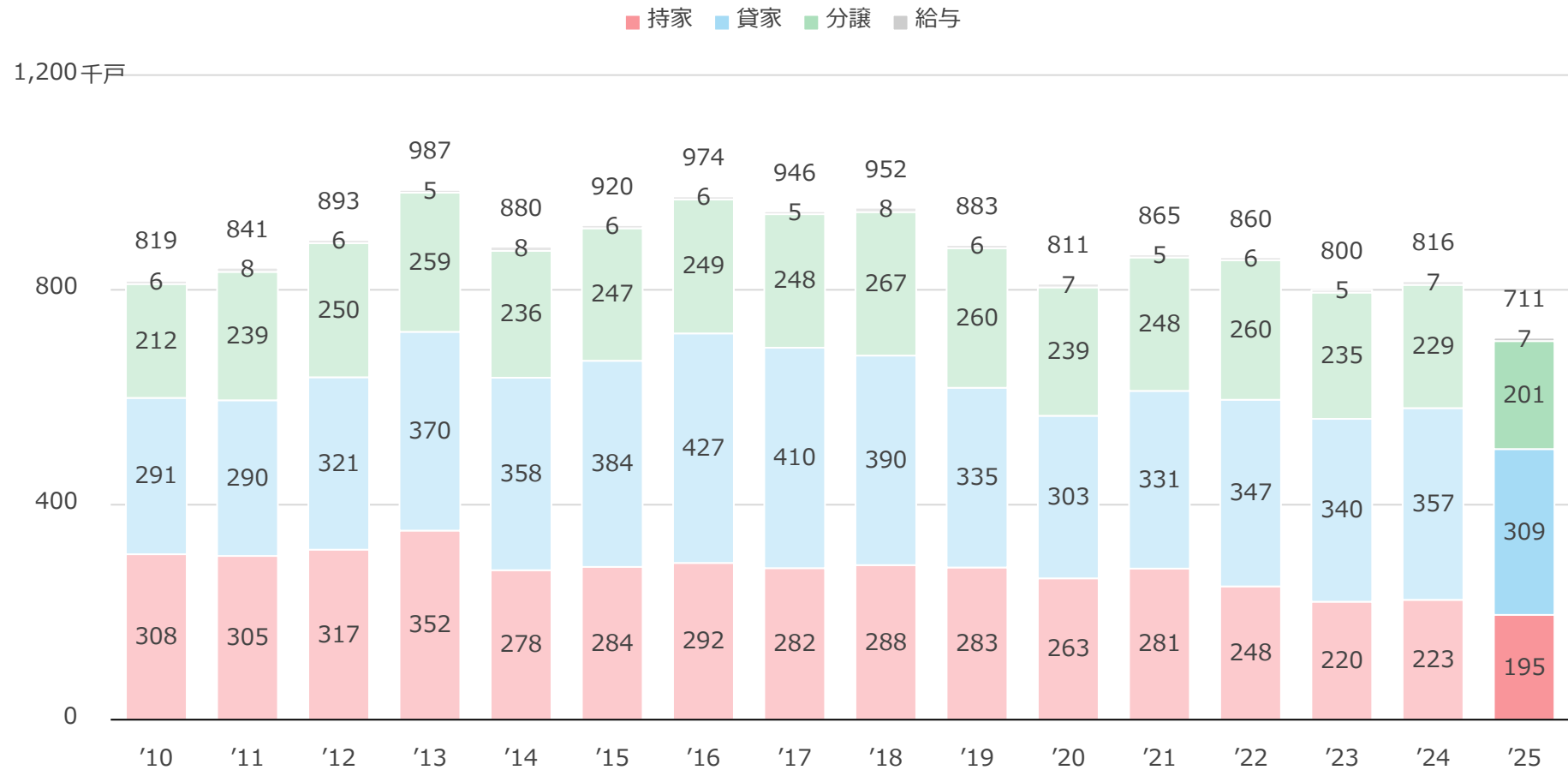
## 為替 月末終値



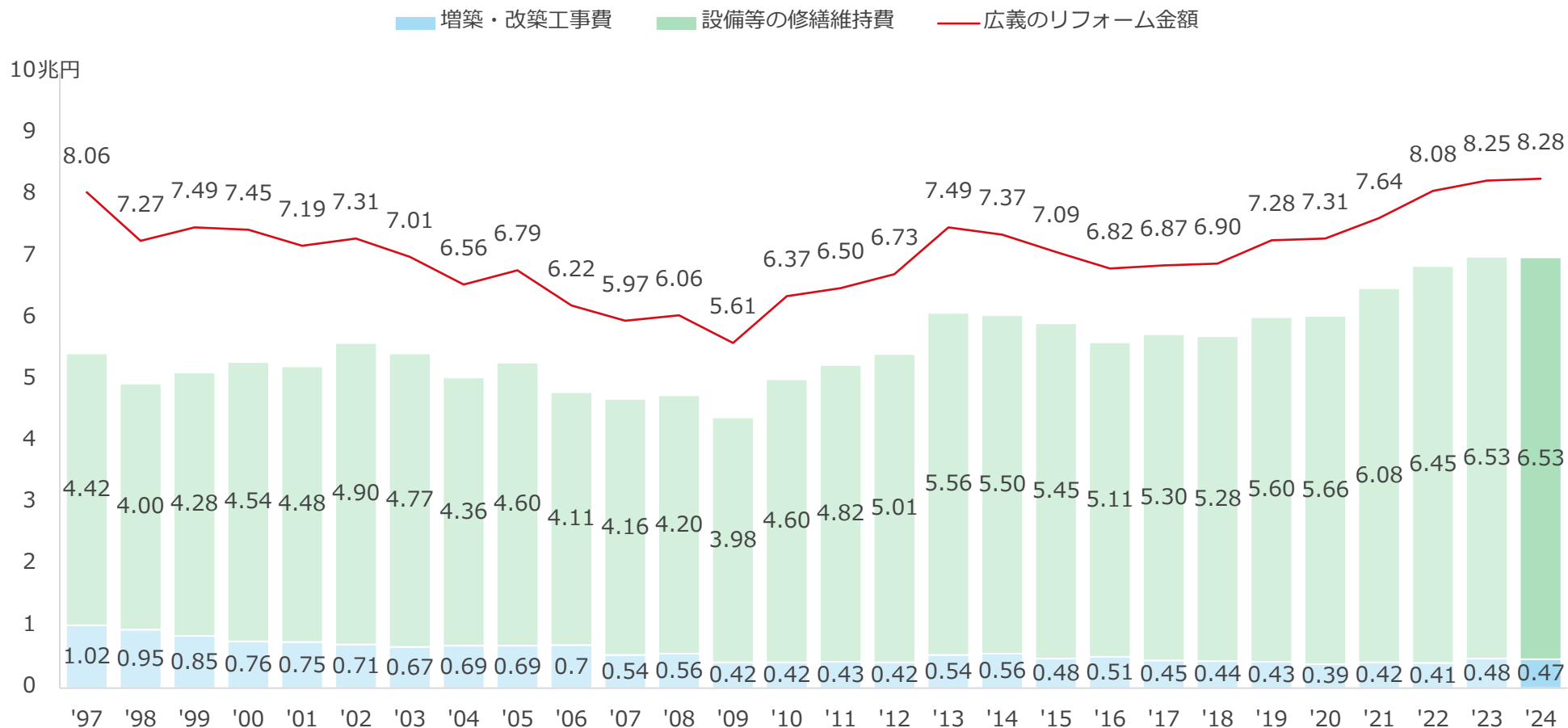
## 銅価格 月末の建値/kg



- 2025年度新設住宅着工戸数は、前年度比12.8%減の71万1千戸。



- リフォーム市場は、堅調に推移。





# KVK

お客様とともに“快適な水まわり”を創造する  
*Creating Value With You*

## 免責事項

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。